【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

・お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
・個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
・ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。
（お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。）

修理・取扱い・手入れなどは まず、お買い上げの販売店へ ご相談ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記窓口にご相談ください。

地区	電話番号	地区	電話番号
東北地区	(022) 382-7791	東京・神奈川・千葉地区	(0422) 34-4117
埼玉・群馬・新潟地区	(0480) 93-8071	栃木・茨城地区	(0286) 52-5046
中部(新潟除く)・東海地区	(0587) 54-4111	近畿地区	(072) 975-4100
中国・四国地区	(082) 870-7776	九州・沖縄地区	(092) 621-9918

※受付時間　平日（土・日・祝日および年末年始等の連休を除く）9:00 ～ 17:00
※上記の相談窓口が通じない場合や、北海道・北陸地区のお客様は、当社お客様相談室（下記）におかけください。

パナソニック サイクルテック株式会社お客様相談室
Tel ：(072) 977-1603
受付時間　9:00 ～ 20:00

パナソニック サイクルテック株式会社

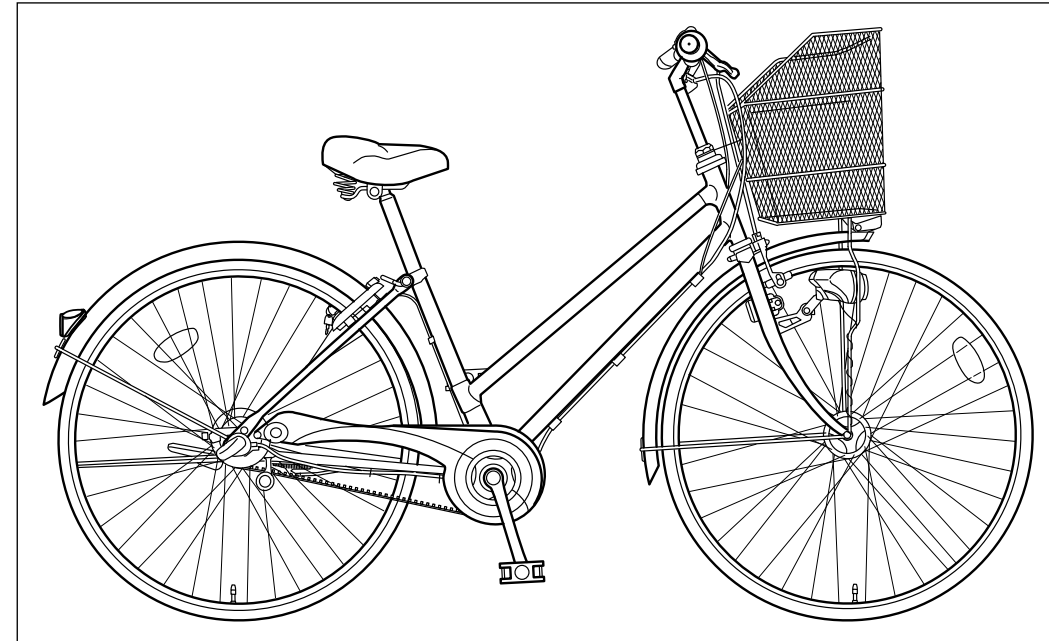
〒 582-8501 大阪府柏原市片山町 13 番 13 号

NYT1121 P0709-0

Panasonic®

取扱説明書
一般用自転車

通学車シリーズ

品　番 B-TFD63
B-TFD73
B-TFB63
B-TFB73
B-TFW63
B-TFW73
B-MWJW734

※イラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「**安全上のご注意**」(2 ～7ページ) を必ずお読みください。
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
●製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
●お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください。

お願い

●この自転車は、通勤、通学、買い物などの日常生活用として設計されています。
新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。
●安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。
●万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
● 必ず、販売店で**防犯登録**の申請手続きを行ってください。
（法令で義務付けられています。）

保証書別添付

もくじ

安全上のご注意（1）

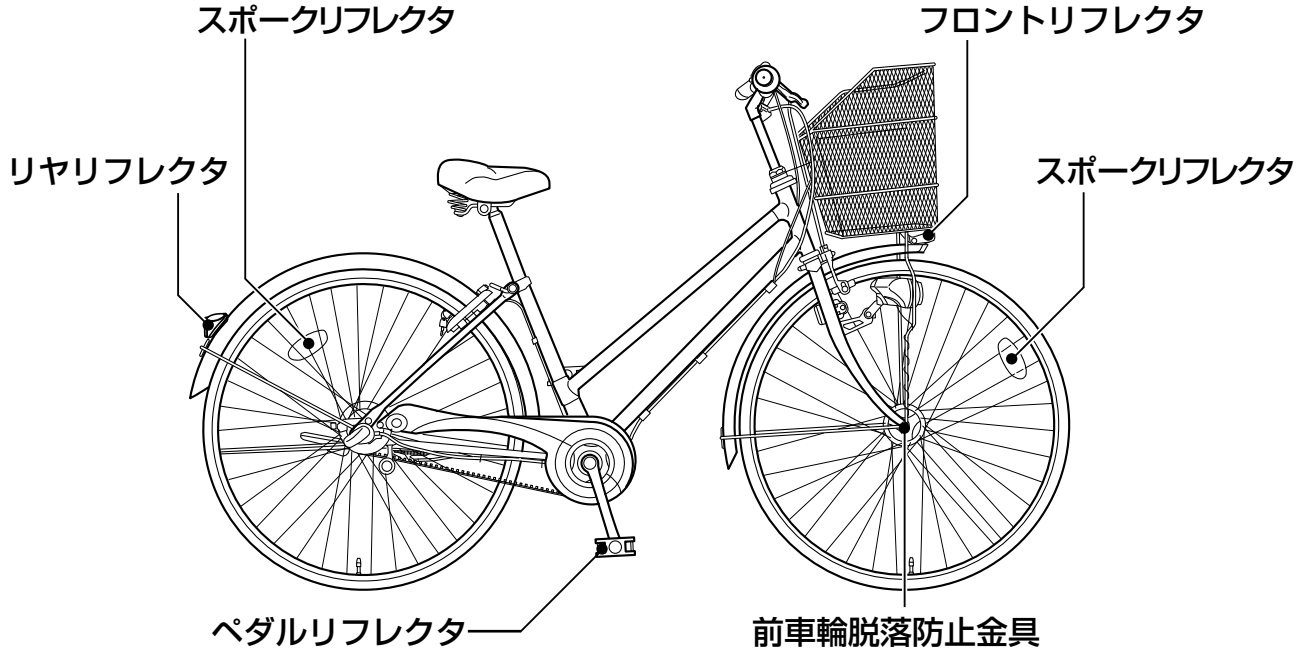
必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠警告

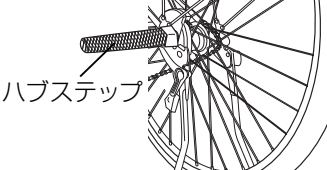
■安全装置は取り外さない

外したまま使用すると、事故発生によるけがのおそれがあります。

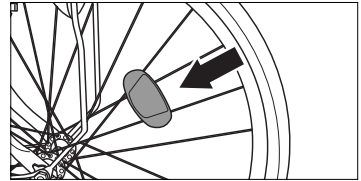
■分解や改造はしない

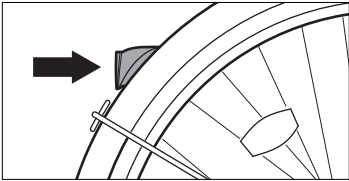
分解禁止

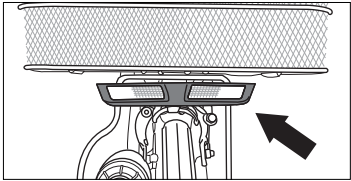
部品が破損したり、外れて転倒によるけがのおそれがあります。

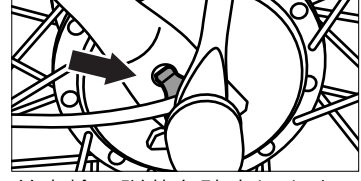
■ハブステップなどの突出物を装着しない

歩行者などに、危害をおよぼすおそれがあります。

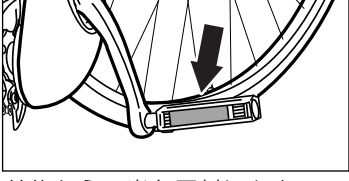
■ 安全装置

スポークリフレクタ

横からの光を反射します。

リヤリフレクタ
（ソーラーオートテール）

後ろからの光を反射します。

フロントリフレクタ
（前部反射器）

前からの光を反射します。

前車輪脱落防止金具

前車輪の脱落を防止します。

ペダルリフレクタ

前後からの光を反射します

※リフレクタが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。
（リヤリフレクタが破損したままでの夜間乗車は法令違反になります。）

安全上のご注意（2）

必ずお守りください

■乗るまえに

まず体に合わせてください

●図のように販売店で調整してもらってください。
●操作して確認してください。
①円滑なペダリングができる。
②ブレーキや変速機が確実に操作できる。
③ハンドル操作が容易にできる。

必ず点検をしてください

●必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
●わからないときは販売店に相談してください。
●未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。

安全な服装で乗ってください

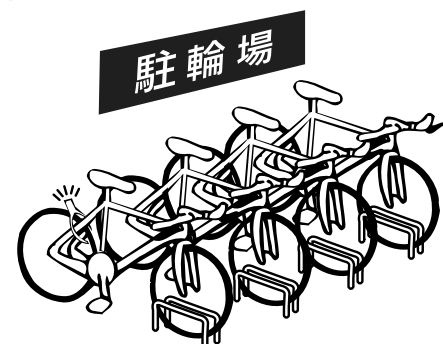
（車輪に巻き込まれやすい服装はしない）
●ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかり等を防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
●児童（13 歳未満の者）・幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、かならずヘルメットをかぶらせてください。

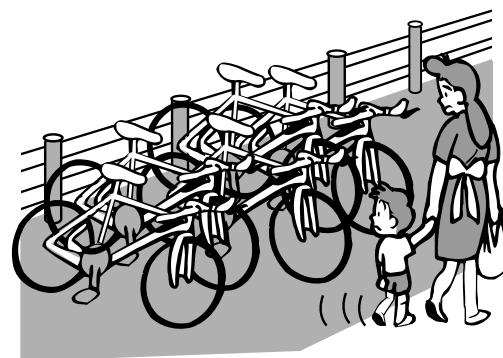
乗る練習は必ず行ってください

●練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
●よく練習してから一般道路でお乗りください。

■乗ったあとは

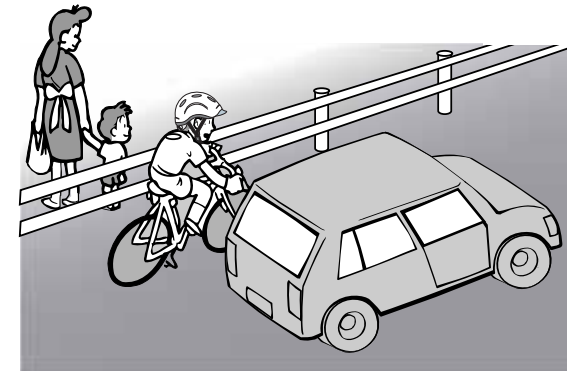
決められた場所に駐輪してください

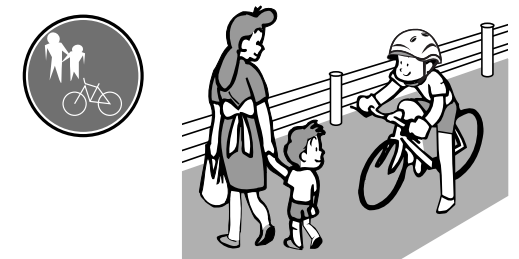
●駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所にとめましょう。
●盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。

自転車放置禁止

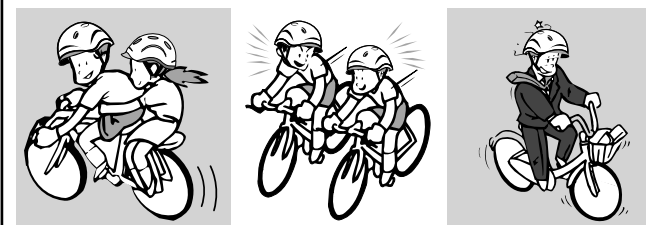
●自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。

■自転車の交通安全ルールを守りましょう

※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

自転車は、車道通行が原則です

●歩道と車道の区別のあるところは自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。

次の様な場合は、歩道通行ができます

（その時にも歩道は歩行者優先、車道よりを徐行）
●自転車歩道通行可の標識等で指定されている場合。
●運転者が児童、幼児、70歳以上の場合。
●車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。

二人乗り、並進、飲酒運転は禁止

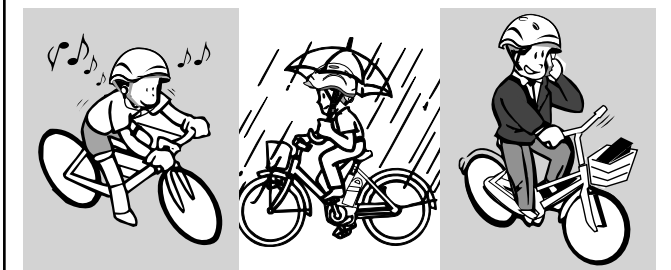
●６歳未満の子供を幼児用座席に一人乗せる場合等を除き、二人乗りは禁止です。
●「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。
●飲酒運転は禁止です。

交差点では一時停止と安全確認を

●一時停止の標識を守り、広い道に出る時は、徐行と安全確認を。
●信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。

夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

●夜の無灯火運転は交通違反です。
●暗いところではライトを点けて通行しましょう。

次の様な運転はしない

●ヘッドフォンを使用しながらの運転。
●傘さし運転。
●携帯電話を操作しながらの運転。

安全上のご注意（3）必ずお守りください

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、乗り方や交通ルールを守りましょう。

交通事故を防ぐために

自動車や子供に注意！
安全を確認し、乗りましょう

車の横を走るときに！

開くドアや人の飛び出しに注意する

学校や公園が近くにあるときに！

子供の飛び出しに注意する

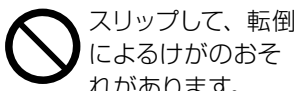
交差点を通るときに！

左折車に巻き込まれないように注意する

転倒事故を防ぐために

こんな時

■雨・風・雪のひどいときは乗らない

バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

■合図以外は、ハンドルから手を離さない

バランスがとりにくく、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな場所

■滑りやすいところでは乗らない
（積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど）

スリップして、転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

■凹凸の激しいところを走らない
（歩道の段差や、溝など）

フレームや車輪の損傷や転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

こんな乗り方

■巻き込みやすい物を車輪やギヤに近接させて乗らない（長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど）

車輪やギヤに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

■かさやステッキ、釣りざお等を車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない

車輪に巻き込んだり、他の人や物にぶつけて事故や転倒によるけがのおそれがあります。

■土踏まずやかかとでペダルを踏まない

カーブでつま先が前車輪にあたり転倒によるけがのおそれがあります。

■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない

ペダルから足が外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつながない

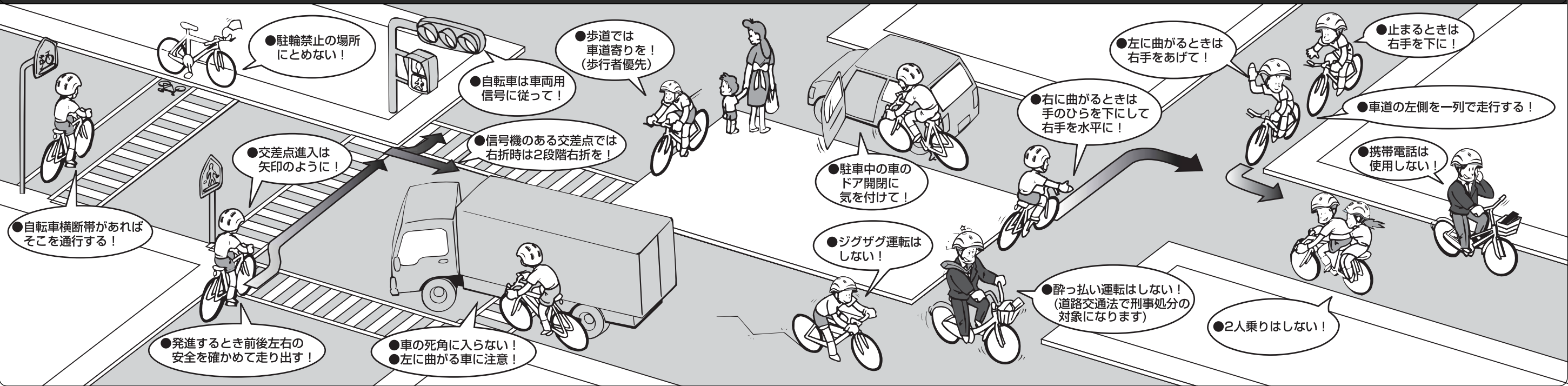
荷物やひもが、車輪に巻き込まれたり、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

■カーブで曲がる側のペダルを下げない

ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな使い方

■走行以外に使わない
（踏み台代わりなど）

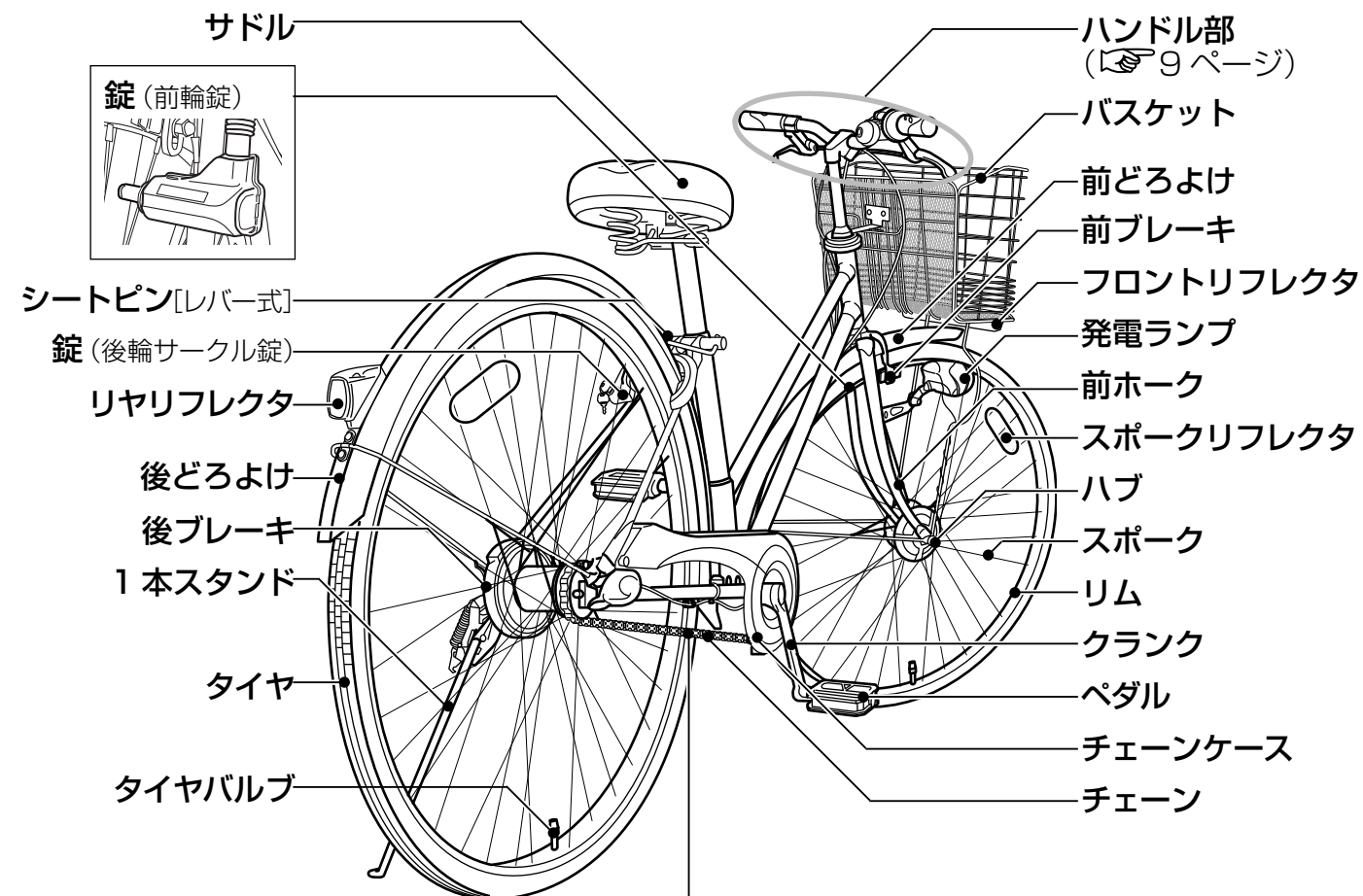
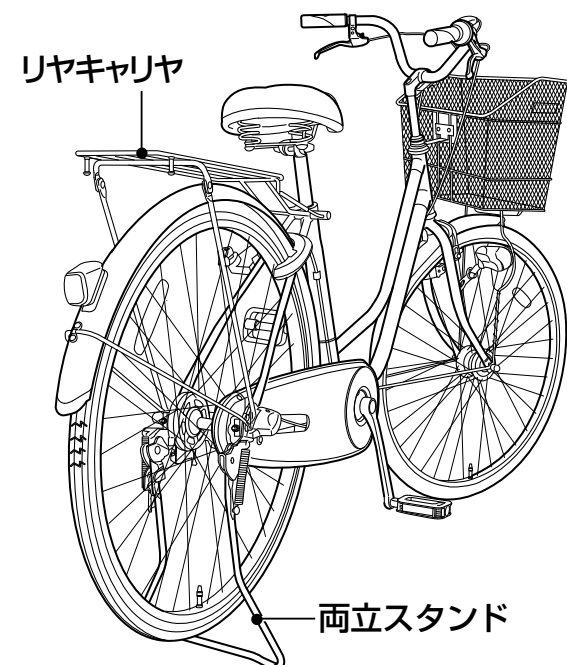
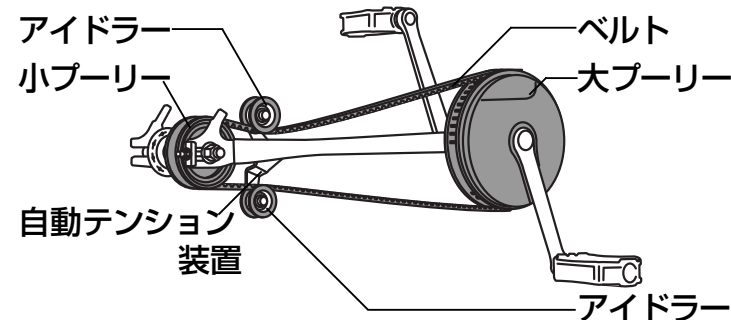
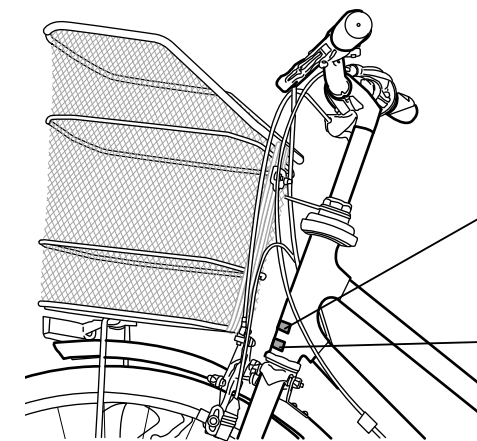
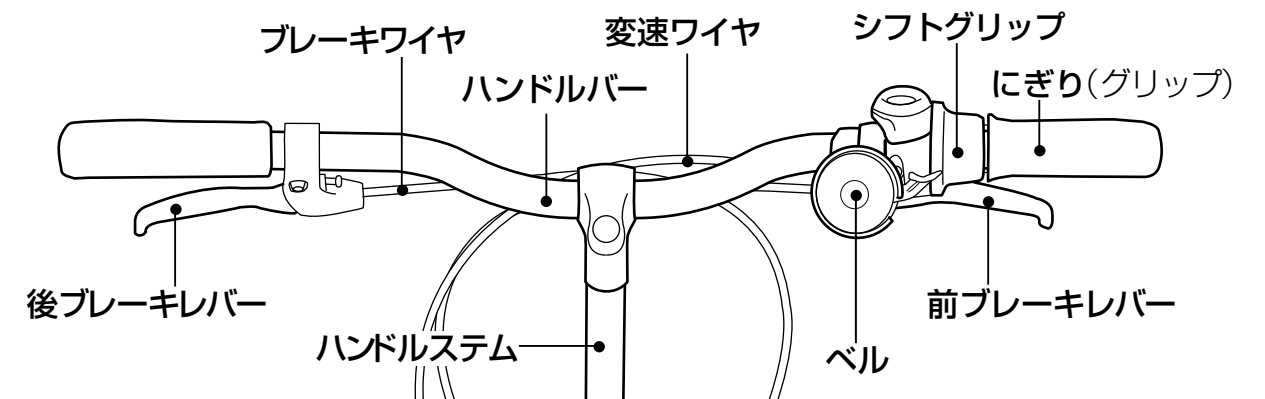
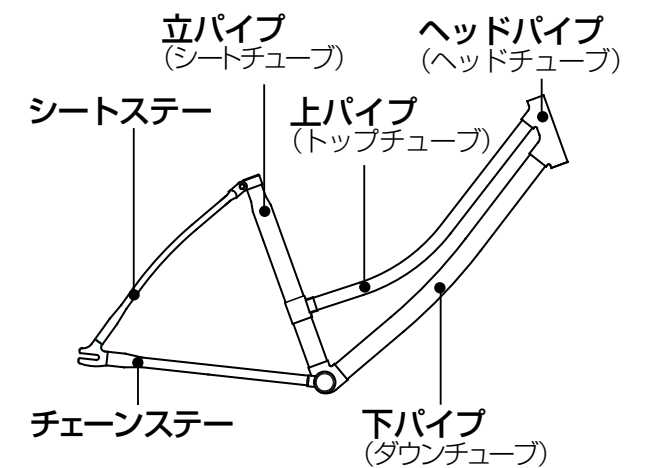
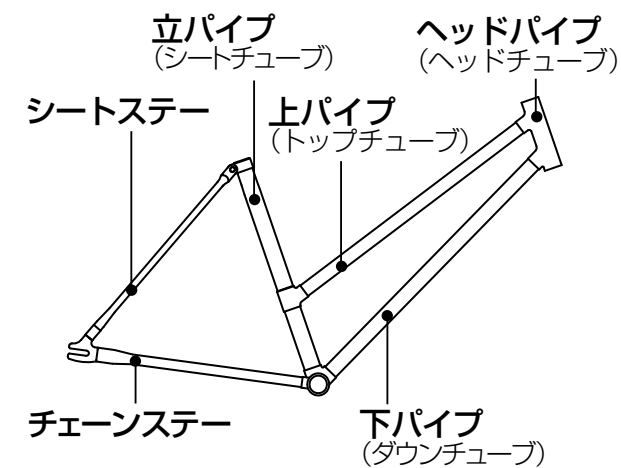
転倒によるけがのおそれがあります。

■スポークの間に固形物（ボールなど）を入れて走らない

車輪に巻き込まれて転倒によるけがのおそれがあります。

自転車で道を走る時のルール・マナー

各部のなまえ

■チェーンモデル

■付属品
- ●キー（スペアキー× 2）
- ●取扱説明書／保証書

7 文字（数字と英字）で表示しています。
防犯登録に必要です。

乗るまえの点検

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

安全にご乗車いただくため、乗るまえにつぎの点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

⚠警告

■各部にガタやユルミおよび、変形・ひび割れ等があるときは乗らない

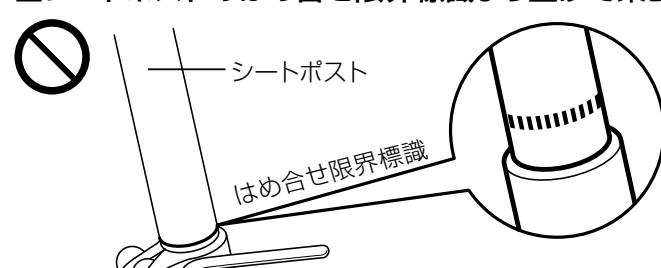
折れて転倒によるけがのおそれがあります。

- ガタやユルミおよび、変形・ひび割れ等を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
- 前ホークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるように設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わった後は、前ホークに変形やひび割れなどの異常がないか点検してください。
- スポークが 1 本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れたスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。

■ハンドルステムのはめ合せ限界標識より上げて乗らない

ハンドルステムが折れて転倒によるけがのおそれがあります。

- ハンドルの高さ調整は、販売店にご相談ください。

■シートポストのはめ合せ限界標識より上げて乗らない

シートポストが折れて転倒によるけがのおそれがあります。

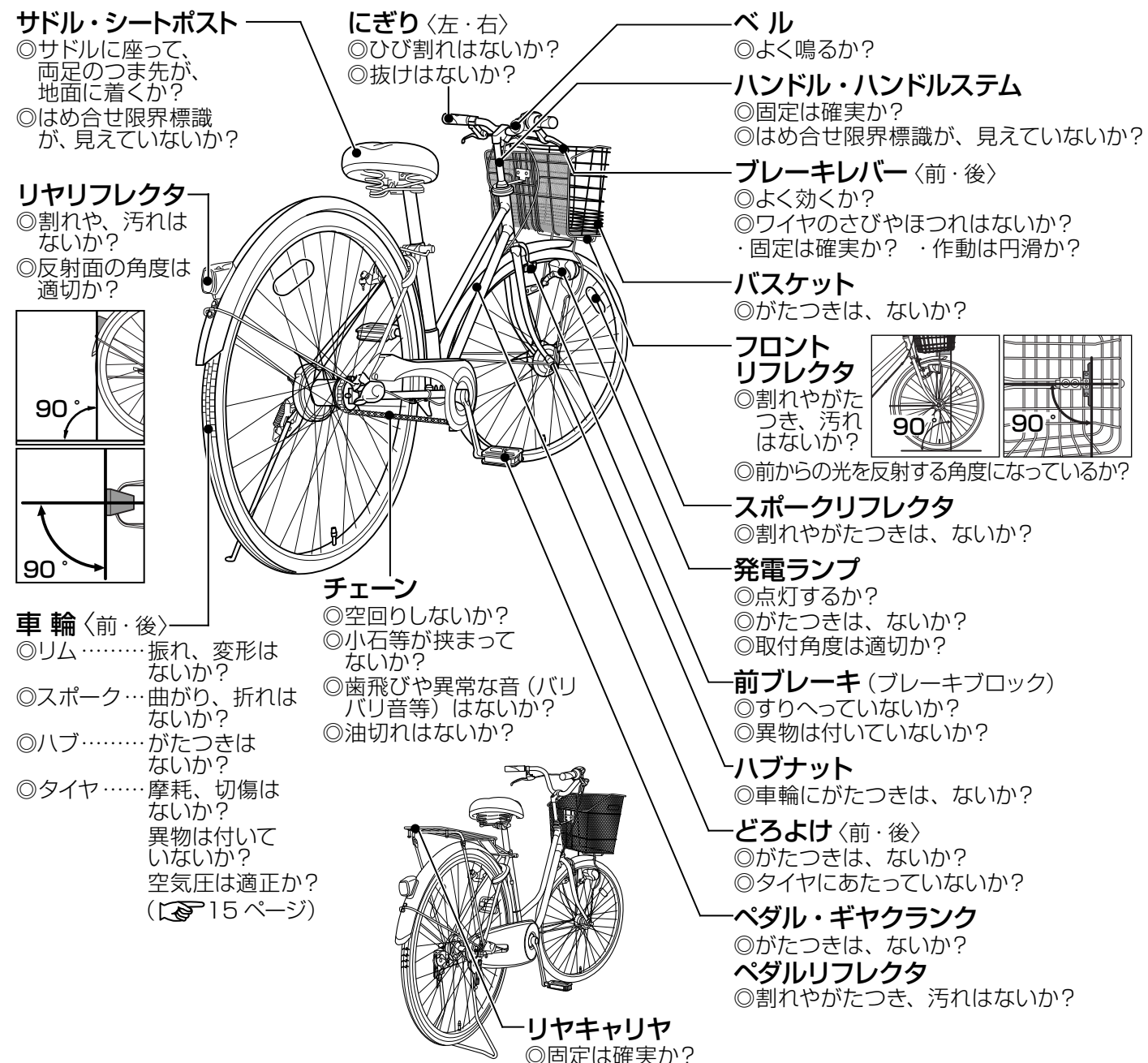
■乗るまえの点検は、必ず実施する。

事故や転倒によるけがのおそれがあります。

- 前後ブレーキの効き、作動の点検をしてください。
- ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検してください。
- 前後車輪が、確実に固定されているか点検してください。
- 前後タイヤの空気圧が適正か点検してください。

■点検で異常があったときは、乗らない

事故や転倒によるけがのおそれがあります。

- 異常があったときは販売店にご相談ください。

■ベルトモデルの場合

⚠警告

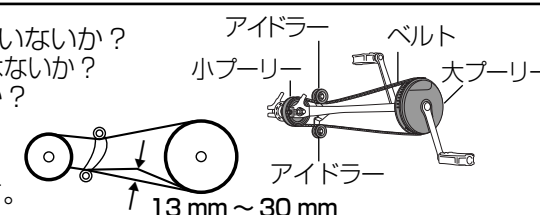
■次のような乗車はしない

- プーリーとベルトの間に、砂等異物が入ったまま長時間の乗車
- カッターナイフ等でいたずらされた後の乗車
- 2 人乗りや、制限重量以上での乗車
- ライター等で火を近づけられた後の乗車

ベルトを損傷させ、寿命が短くなり切損し、転倒やけがのおそれがあります。

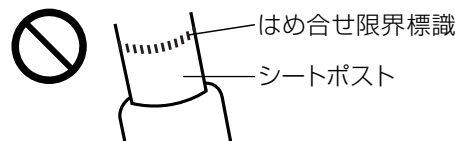
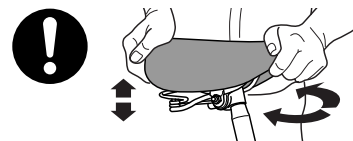
◎歯飛びや異常な音（バリバリ音等）はないか？
ベルト／プーリー／アイドラー
◎どろや砂利等がつまっていないか？
◎傷、歯欠け、ひび割れ等はないか？
◎ベルトのたわみは適正か？

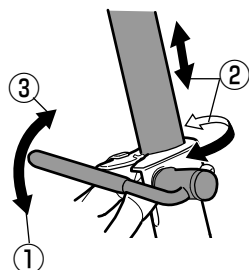
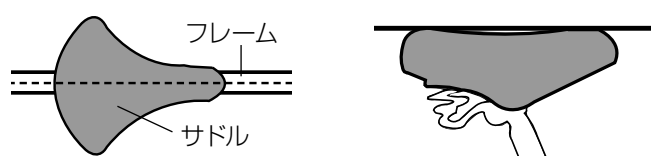
■ベルトのたわみの確認方法

ベルトの下側を押し上げて、13 mm ～ 30 mm あれば適正です。

■サドルの調整

⚠警告

■はめ合せ限界標識が見えるまで上げない

■調整後は必ずがたつきやずれがないかを点検する

シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒によるけがのおそれがあります。

●高さと向きの調整

①シートピンレバーをゆるめる。
②サドルの高さ、向きを調整する。
③シートピンレバーを締める。
④がたつきやずれがないことを確認する。

●サドルの正しい方向と角度

フレームと平行に合わせる。

サドルの上面と地面を平行にする。

お願い

●角度の調整は販売店にご相談ください。

お知らせ

●サドル抜け防止機構のため、サドルを引き抜くことはできません。

■ブレーキの調整（販売店に依頼してください。）

⚠警告

■ブレーキレバーの遊びが大きいままや、小さいままで走行しない

ブレーキが効かなくなったり、効き過ぎたりすることがあり、転倒や衝突によるけがの原因になります。
●ブレーキが効かないときやブレーキレバーの遊びが不適切なときは、すぐに販売店で点検を受けてください。

■ロックナットは確実に締め付ける

ブレーキの調整が狂い転倒や衝突によるけがの原因になります。

■ローラーブレーキグリスの補給には、必ずローラーブレーキ専用グリスを使用する

制動力が低下し、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。
●販売店でローラーブレーキ専用グリス（当社品番：NBP002）を補給してください。

■音鳴りがしたり、ブレーキの効きが強すぎる場合は使用しない

転倒や衝突によるけがの原因になります。
●すぐに販売店で点検を受けてください。

⚠注意

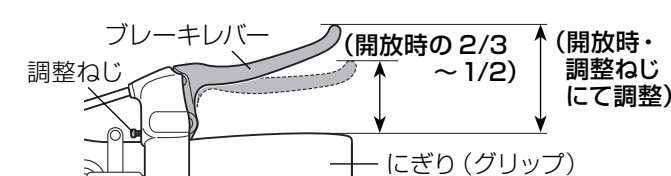
■走行直後は、ブレーキ部に手を触れない

接触禁止

ブレーキ部が高温になり、やけどの原因になります。

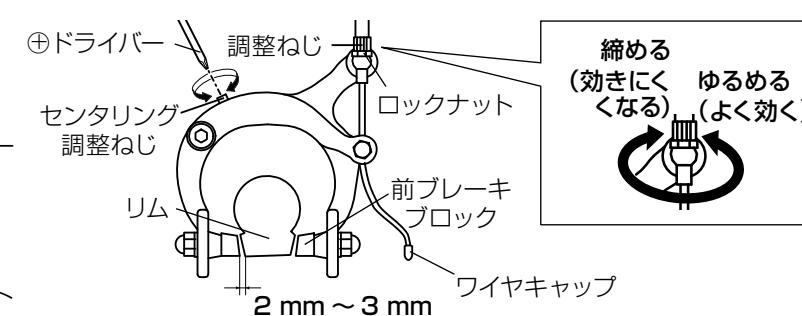
※下記はブレーキの調整ねじを使用した応急的な調整方法です。販売店でブレーキワイヤを張り直すなど、点検・再調整を行ってください。

●ブレーキレバーとグリップの間隔

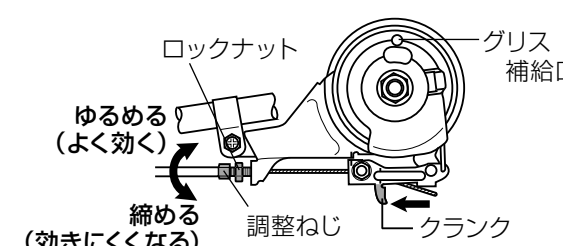
ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の 2/3 ～ 1/2 の位置で、ブレーキが効きだすように、調整する。

お願い

●上記の調整範囲は目安です。調整後は必ずブレーキテストをしてください。

●前ブレーキ

①ロックナットをゆるめる。
②調整ねじを回す。
③センタリング調整ねじで、リムと前ブレーキブロックのすき間が左右均等になるように調整する。
④走行してブレーキの効きを確認する。
⑤調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを適正締付トルクで締め付ける。

締付トルク 1 N·m ～ 2 N·m ｛10 kgf·cm ～ 20 kgf·cm｝

●後ブレーキ（ローラーブレーキ）

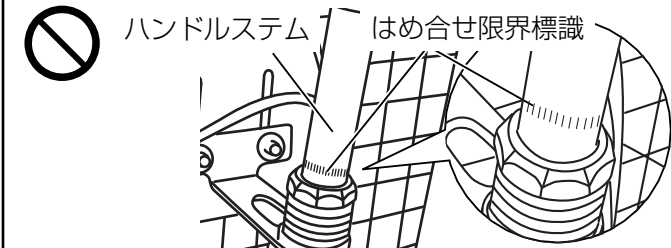
①ロックナットをゆるめる。
②クランクを押しながら、調整ねじを回す。
③ブレーキの効きを確認する。
④調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを適正締付トルクで締め付ける。
締付トルク 1 N·m ～ 2 N·m ｛10 kgf·cm ～ 20 kgf·cm｝

お願い

●確実な制動力を得るために、通常 1 ～ 2 年に 1 回程度は販売店でローラーブレーキ専用グリスを補給してください。
●ブレーキ調整が不適切な場合、ブレーキが効き過ぎたり、逆に効かないことがあります。また、使用によるなじみや摩耗で、ブレーキの効き具合が変わります。ブレーキが効きにくい場合は、販売店で点検を受けてください。

わからないときは、販売店にご相談ください。

■ハンドルの高さ調整（販売店に依頼してください）

⚠警告

■ハンドルステムのはめ合せ限界標識が見えるまで上げない

ハンドルポストが折れて転倒によるけがのおそれがあります。

■チェーンの調整（販売店に依頼してください。）

⚠警告

■チェーンがたるんだまま走行しない

チェーンのたるみが大きくなると、走行時にチェーンが外れやすくなり危険です。転倒や衝突によるけがの原因になります。

■発電ランプの点検

⚠警告

■ランプの取付がゆるんだまま、走行しない

スポークに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

■夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
●ランプがつかないときは、押して歩いてください。無灯火での夜間乗車は、法令違反になります。

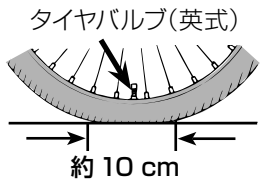
●照らす位置

お願い

●角度の調整は販売店にご相談ください。

■空気圧の調整（前後のタイヤ）

●適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約 10 cm 程度が、適正です。
圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。
300 kPa ～ 450 kPa{3.0 kgf/cm^2 ～ 4.5 kgf/cm^2} が適正です。

ご注意

●空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リムを損傷させる原因になります。
●長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
●タイヤバルブの型式は、英式です。

お願い

●上記の空気圧は体重 65 kg 程度の方が乗車された場合の適正な空気圧です。体重の重い方は通常より高い空気圧 400 kPa ～ 450 kPa{4.0 kgf/cm^2 ～ 4.5 kgf/cm^2} にて使用してください。

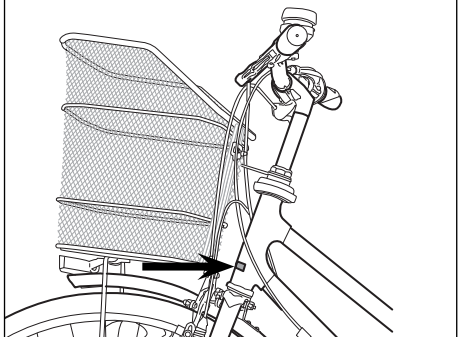
●空気の入れ方

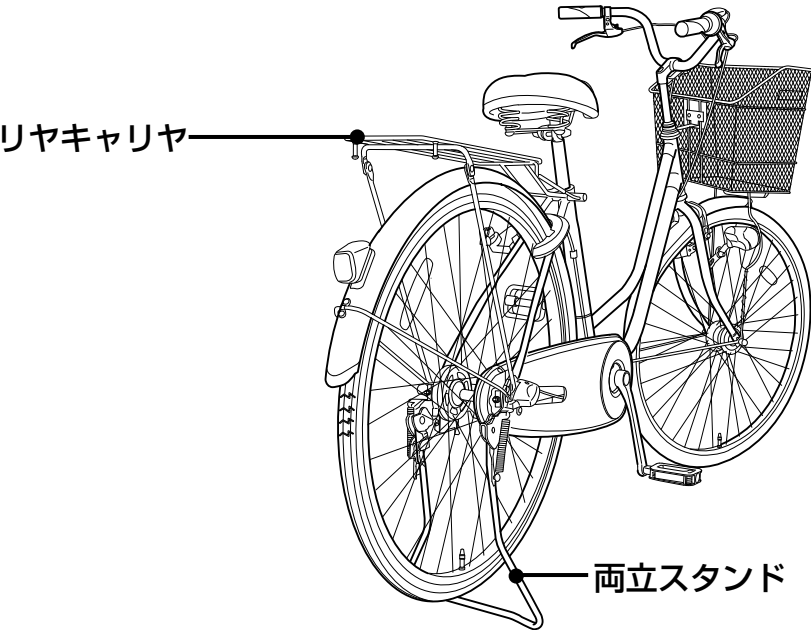
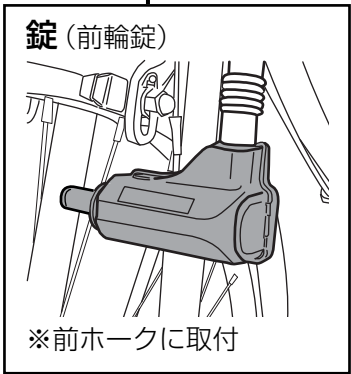
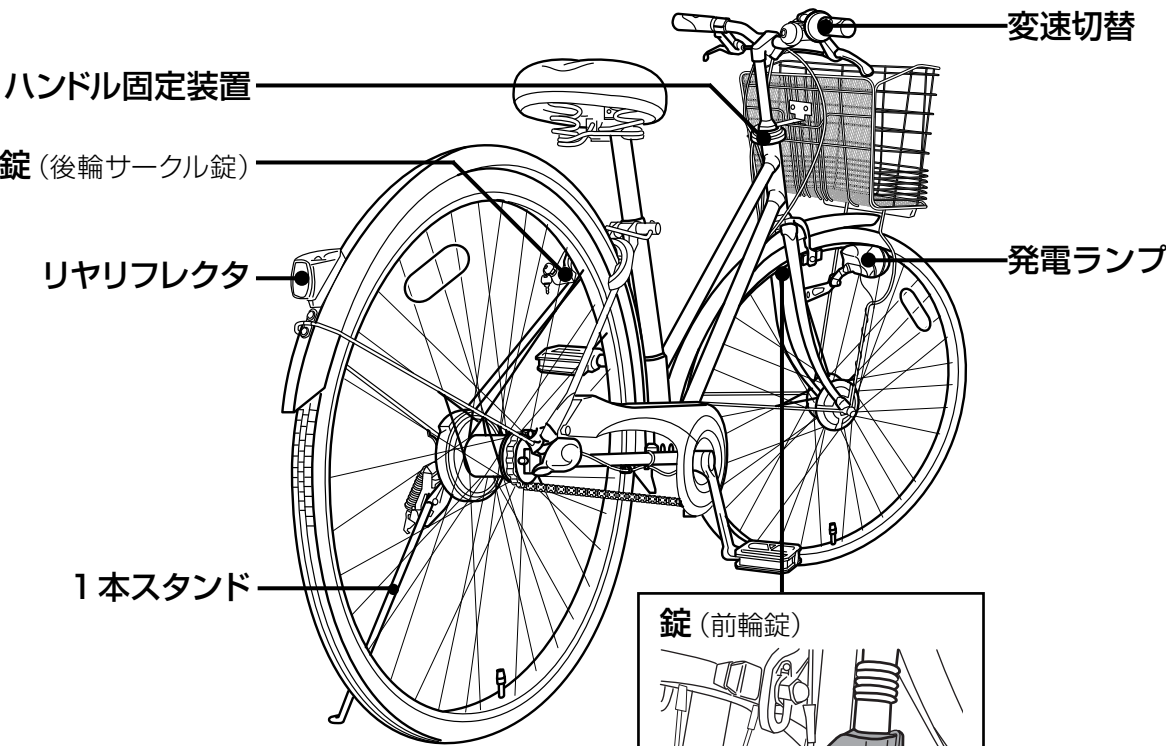
自転車用のポンプを使って空気を入れます。

■タイヤについて

お願い

●走行前にタイヤに異物が刺さっていないか点検してください。パンクやタイヤ・リムを損傷させる原因になります。
●タイヤの空気圧は 300kPa {3.0kgf/cm^2} 未満では使用しないでください。タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。
●ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
●ガソリン・有機溶剤・油類が付着したときは、すぐふき取ってください。

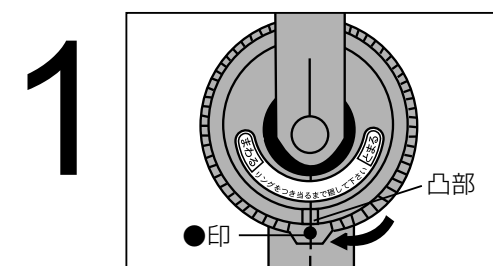
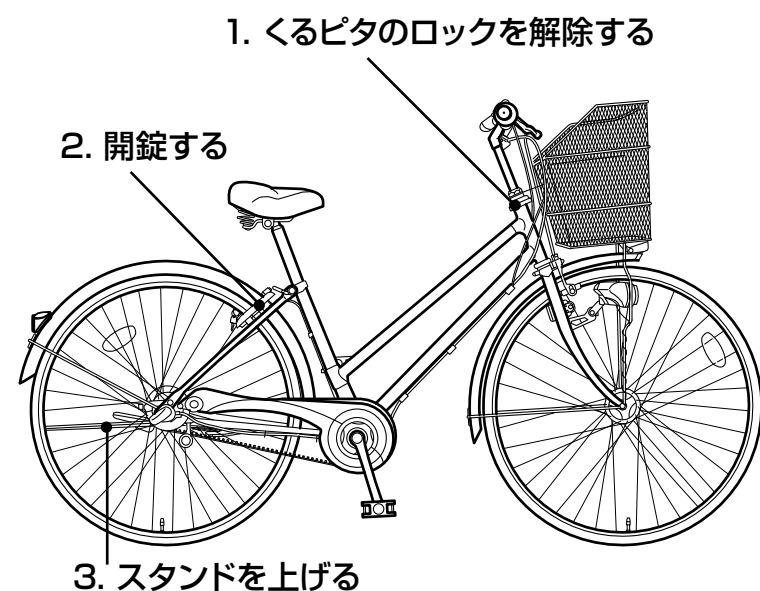
乗るまえに

お知らせ

●本書は、通学車シリーズ全般を記載しています。お買い上げいただいた車種により、取付けの部品が異なります。
次ページを参照し、各部品の正しい取扱いを身に付けましょう。

■車種別取付け部品表

部品名		掲載ページ	車種品番 B-TFD63	B-TFD73	B-TFB63	B-TFB73	B-TFW63	B-TFW73	B-MWJW734
ハンドル固定装置	くるピタ	18～19	●	●	●	●	●	●	●
錠	ガチガチロック	20	●	●	●	●	●	●	●
発電ランプ	LED ゴールド・プロジェクタービーム	21	●	●					
	LED プロジェクタービーム	21			●	●	●	●	●
リヤキャリヤ		24					●	●	●
リヤリフレクタ	ソーラーオートテール	25	●	●	●	●	●	●	●
変速切替	内装３段シフトグリップ	26～27	●	●	●	●	●	●	●
スタンド	１本スタンド	—	●	●	●	●			
	両立スタンド	—					●	●	●

わからないときは、販売店にご相談ください。

■ 乗車と駐輪

● 乗車時

●くるピタの特長　「くるピタ」は駐輪するとき（特に坂道や、バスケットに荷物を入れた場合）のハンドルのふらつきや回転を防止します。

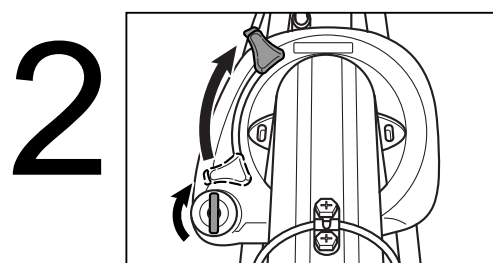
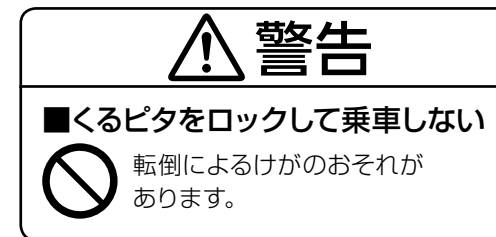
1

くるピタの、リングの赤い●印を時計方向（まわる 側）に回し、凸部と●印が合っていることを確認する。
（ハンドルがスムーズにまわります。）

⚠警告

■くるピタをロックして乗車しない

転倒によるけがのおそれがあります。

2

後輪サークル錠を、開錠する。

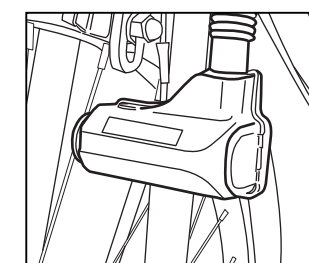
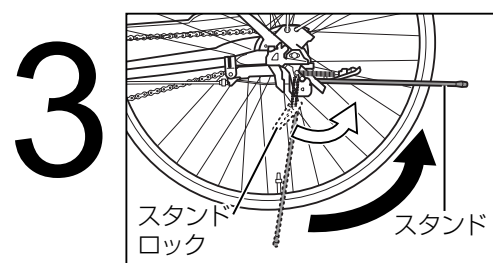
お願い

●詳しい開錠方法は、20 ページをご覧ください。

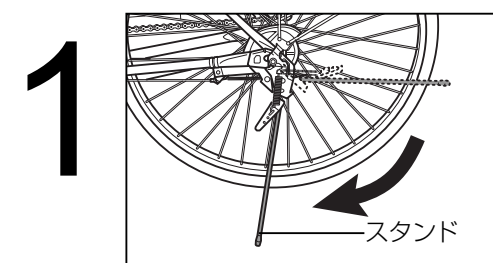
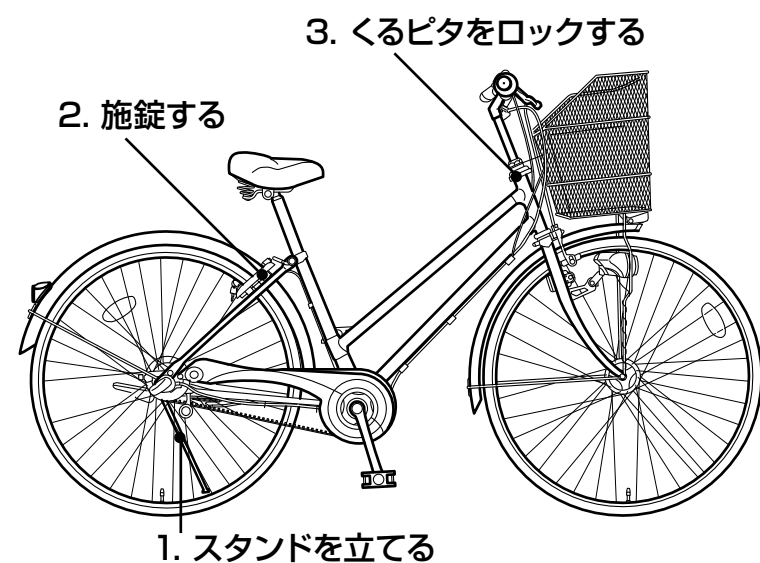
お知らせ

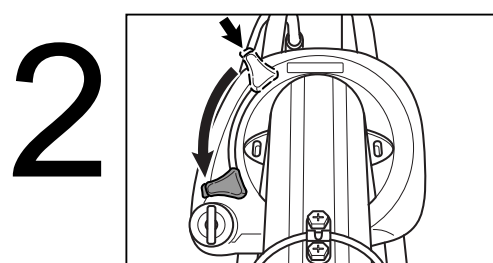
●走行時は、後輪サークル錠にキーが付いたままになります。

前輪錠の開錠を確認する。

3

スタンドロックを解除し、スタンドを後方へ完全に跳ね上げる。

● 駐輪時

1

スタンドを立て、ロックがかかることを確認する。
（オートロックスタンド）

2

後輪サークル錠を、施錠する。

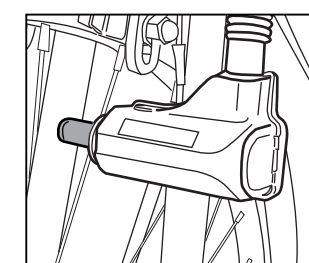
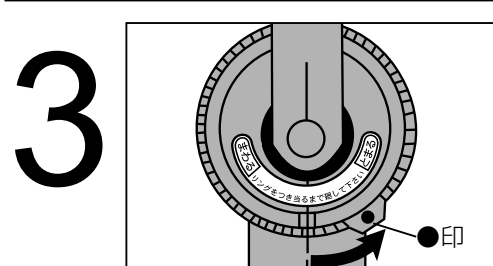
お願い

●詳しい施錠方法は、20 ページをご覧ください。

お知らせ

●駐輪時は、後輪サークル錠からキーを抜き取り、携帯します。

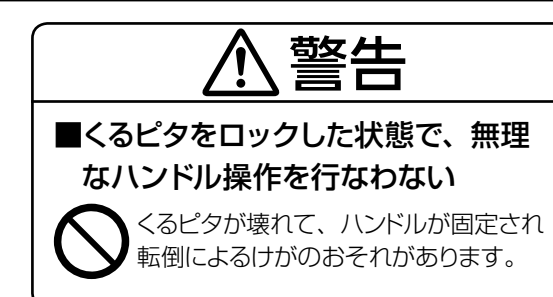
前輪錠の施錠を確認する。

3

くるピタの、リングの赤い●印を反時計方向（とまる 側）に回らなくなるまで回し、ロックする。
（ハンドルが固定されます。）

お願い

●リングを反時計方向（とまる 側）に回しても固定できない場合は、ハンドルを少し動かしながらリングを回し、固定してください。

■くるピタをロックした状態で、無理なハンドル操作を行なわない

くるピタが壊れて、ハンドルが固定され転倒によるけがのおそれがあります。

正しい取扱い方法（3）

■ 錠について（ガチガチロック）

⚠警告

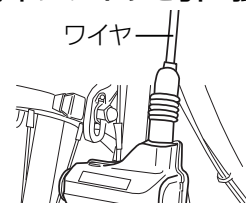
■長いキーホルダーをつけない

スポークに巻き込んで転倒によるけがのおそれがあります。

■走行中に作動させない

前輪や後車輪がロックされ、転倒によるけがのおそれがあります。

■走行中にワイヤを引っ張らない

前輪がロックされ、転倒によるけがのおそれがあります。

●ガチガチロックの特長

・後輪サークル錠を操作すると前輪錠が同時に施錠・開錠します。

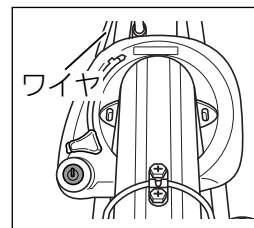
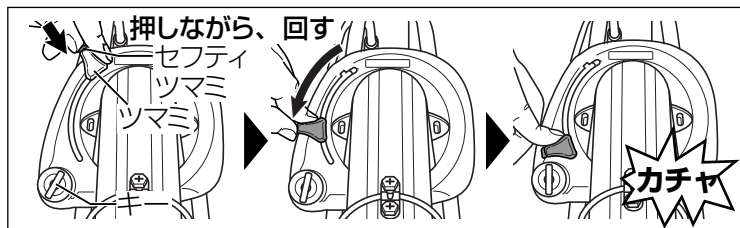
お願い

●キーは、紛失しないよう大切に保管し、キー番号は控えておいてください。
（保証書および、本取扱説明書 30 ページのキー番号欄に記入しておかれることをお勧めします。）
●キーを紛失された場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
その際には、保証書とキー番号が必要ですので、必ずご持参願います。
●キーをさした状態で上下に強く押さないでください。（キーが曲がったり折れ込んで、操作できなくなります。）

●施錠方法

①セフティツマミを押しながら、ツマミを「カチャ」と音がするまで下に回す。

②キーを抜く。

③前輪錠が施錠されていることを確認する。

お願い

●前輪錠のカンヌキがスポークに当り、施錠しにくい場合は自転車を前後に少し動かして施錠してください。

お知らせ

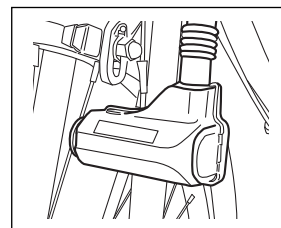
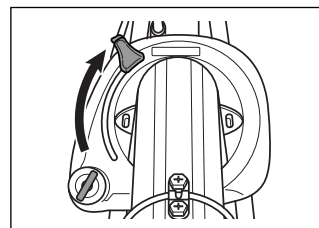
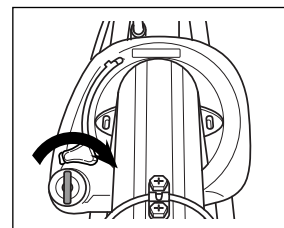
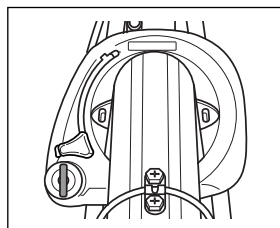
●レバー操作力は一般の錠より少し重くなりますが、確実に開錠する為のバネの反力ですので、故障ではありません。

●開錠方法

①キーを差し込む。

②キーを時計方向に回す。

③ツマミは自動的に上へ戻り、キーはキー穴から抜けなくなる。

④前輪錠が開錠されていることを確認する。

ご注意

●この時ツマミが、勢い良く戻りますのでご注意ください。

■ 発電ランプの取扱い（LED ゴールド・プロジェクタービーム、LED プロジェクタービーム）

⚠警告

■ランプの取付がゆるんだまま、走行しない

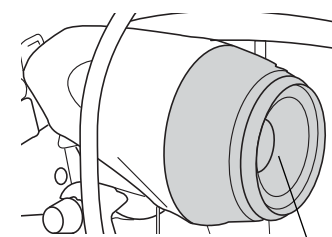
スポークに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。
●乗る前に点検してください。

■夜間や視界の悪いときは無灯火で乗らない

衝突や転倒によるけがのおそれがあります。
●ランプがつかないときは、押して歩いてください。
無灯火での夜間乗車は、法令違反になります。

● LED プロジェクタービームの特長

- LED ゴールド・プロジェクター ビーム　　ゴールドボディ（TFD）
- LED プロジェクター ビーム　・・・・・シルバーボディ（TFB, TFW, MWJW）

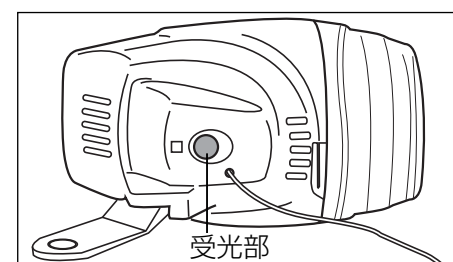
発電機が車輪に組み込まれているハブダイナモ式発電ランプで、ハイパワー LED と非球面レンズを搭載しています。
センサーが周囲の明るさを感知して自動的に点灯し、消灯します。
点灯時はレンズ側面も光り、サイドや後方からの被視認性が高くなります。
押し歩き時では、フラッシング照射（点滅）します。

非球面レンズ

お知らせ

●内部の LED は交換できません。

お願い

●レンズを無理に取り外さないでください。本体が壊れる原因になります。
●故障したときは、販売店にご相談ください。

●点灯確認のしかた（ON/OFF スイッチはありません）

受光部（本体下部）に光が入らないように黒い紙等でふさいでから前車輪を回転させて、点灯することを確認してください。
確認後は、受光部をふさいでいた黒い紙等を外してください。

お願い

●受光部が汚れたときは、柔らかい布でふき取ってください。
受光部が汚れていますと、センサーが誤作動を起こす場合があります。

⚠警告

■点灯確認のとき指で受光部をふさがない

前車輪が回転しているときスポークに指が巻きこまれ、けがのおそれがあります。

■幼児用座席のご使用について

⚠警告

■幼児用座席なしで幼児を乗せない
■幼児は 1 人しか乗せない
■幼児用座席に幼児を乗せている時は、その場を離れない

不安定で、自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれがあります。

■幼児用座席が、自転車に確実に取り付けられていることを確認し破損、変形などしたままでの使用はしない

幼児が落下して、けがをするおそれがあります。

■取付時に、ハンドルバーへキズをつけるおそれのある幼児用座席は装着しない

ハンドルバーが損傷し転倒によるけがのおそれがあります。

■幼児を乗せる時は必ず靴をはかせる

幼児がけがをするおそれがあります。

■幼児用座席に幼児を座らせている場合、可動部に触れさせない

車輪やギアに手足を巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

■乗車及び走行中は、必ず幼児にヘルメット (JIS T8134 自転車用ヘルメットと同等以上のもの) **を着用させる**

頭部を強打した場合、大きな危害を受けるおそれがあります。

■幼児用座席を取り付ける場合は、販売店に依頼する

取付が不安定になり、自転車が転倒し、けがをするおそれがあります。

■ハンドル取付式幼児用座席を取り付けない

幼児の足がくるピタに当たり、不意にロックして転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■定員、使用年齢範囲、体重制限を守る
■乗車及び走行中は、必ず幼児にシートベルトを着用させ、正しい姿勢であることを確認する

幼児が落下して、けがをするおそれがあります。

■炎天下での駐輪時、幼児用座席が熱くなっていないか確認してから幼児を乗せる

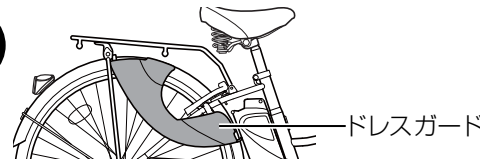
幼児がやけどするおそれがあります。

■急ブレーキ、急ハンドルは避ける

転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■幼児の乗せ降ろしの際は、ハンドルをまっすぐにした状態で平坦な場所に駐輪し、必ずスタンドロックがかかっているか確認して行う

不安定で、自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれがあります。

■リヤキャリヤ取付式幼児用座席を取り付ける時はドレスガードも取り付ける

車輪やギアに手足を巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
●ドレスガードが装備されていない場合は、販売店にご相談ください。

⚠警告

■リヤキャリヤ取付式チャイルドシート（子供乗せ）（幼児用座席）を取り付けるときは乗車・運転に支障のない範囲でできる限り前寄りに取り付ける

幼児を乗せた状態での押し歩き時、スタンド操作時等では重心が後寄りとなり、後方へ転倒して幼児がけがをするおそれがあります。また、前寄りに付け過ぎると、ペダリング時にチャイルドシートに足が当たり、バランスを崩して転倒によるけがのおそれがあります。
●ハイバック式チャイルドシートでは通常タイプに比べ、特に重心が後寄りになりますので、ご注意ください。

■幼児を乗せた状態での押し歩き、スタンド操作時等の場合はハンドルをしっかり押さえる

幼児を乗せた状態での押し歩き時、スタンド操作時等では重心が後寄りとなり、後方へ転倒して幼児がけがをするおそれがあります。

お知らせ

● B-TFW63/73、B-MWJW734 は、リヤキャリヤ取付式幼児用座席を取付けることができます。
取り付けが可能な幼児用座席の種類は以下の 2 つです。
年齢 1 歳以上、6 歳未満、体重 22 kg 以下で身長 115 cm 以下の幼児が使用する幼児用座席（22 kg 以下用）
年齢 1 歳以上、4 歳未満、体重 15 kg 以下で身長 100 cm 以下の幼児が使用する幼児用座席（15 kg 以下用）
● B-TFD63/73、B-TFB63/73 は「1 本スタンド」が装着されているため、前後ともに幼児用座席を取付けることはできません。

お願い

●幼児用座席は SG マークが付いたものをお勧めします。

正しい取扱い方法（5）

わからないときは、販売店にご相談ください。

乗るまえに

■ バスケットについて

⚠警告

■積載条件から外れる荷物を積まない

〈バスケット積載条件〉
- ●大きさ：バスケットにおさまる大きさ
- ●重さ　：3 kg まで

バランスを崩したり、ブレーキが効きにくくなり、転倒によるけがのおそれがあります。

お願い

●荷物の運搬には、リヤキャリヤ及びバスケット以外は使用しないでください。
●積載条件以上の荷物を積まないでください。劣化度合が大きくなったり、場合によってはバスケット、フレームなどが破損するおそれがあります。

お知らせ

●容量の大きいバスケットに交換しても、最大積載質量は同じです。

■ リヤキャリヤについて〈TFW, MWJW〉

⚠警告

■積載条件から外れる荷物を積まない

〈リヤキャリヤ積載条件〉
- ●高さ　　：30 cm まで
- ●幅・長さ：キャリヤの幅・長さプラス 10 cm まで
- ●重さ　　：フロントバスケット・リヤキャリヤ合わせて 22 kg まで（クラス表示 25）
（但し、フロントバスケットは 3 kg まで。）

バランスを崩したり、ブレーキが効きにくくなり、転倒によるけがのおそれがあります。

お願い

●荷物の運搬には、リヤキャリヤ及びバスケット以外は使用しないでください。
●積載条件以上の荷物を積まないでください。劣化度合が大きくなったり、場合によってはリヤキャリヤ、フレームなどが破損するおそれがあります。

お知らせ

●容量の大きいリヤキャリヤに交換しても、最大積載質量は同じです。

■ リヤリフレクタ（ソーラーオートテール）について

⚠警告

■ボタン電池は次のような使い方をしない
- ●充電器等で充電しない　●電池を火の中に投入しない
- ●電池をショートさせない　●電池の ⊕⊖ を逆にして使用しない

使い方を誤ると、電池が発熱・液もれ・破裂したり、けがのおそれがあります。

●ソーラーオートテールの特長

走行中に周囲が暗くなるとセンサー機能により自動で点滅し、停止すると消灯します。
停止後もしばらくの間（約 1 分間）点滅し続けます。

●太陽電池について

このソーラーオートテールは太陽電池で内蔵する電池を充電します。ご使用の前に絶縁シートを引き抜いてください。

お知らせ

●太陽電池部を覆ったり、暗い所へ自転車を置くと、充電できずに自動点滅しない場合があります。
日光に当て、充電すると元に戻ります。（曇りまたは雨の日でも充電は可能です。）

●お手入れ

レンズについた汚れはこまめにふき取ってください。レンズの汚れがひどい場合は、水もしくは中性洗剤の水溶液を布にしみこませてからふき取ってください。

お知らせ

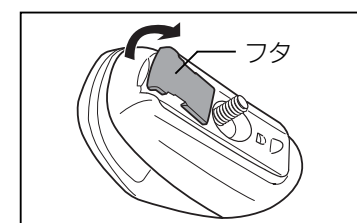
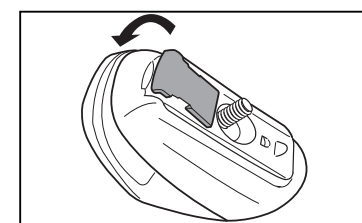
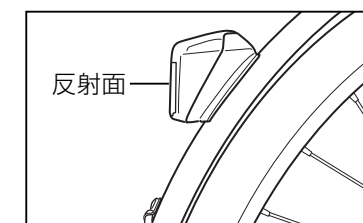
●レンズの汚れがひどいと光センサー受光部に光が届きにくくなるため、明るい昼間でも点滅することがあります。また太陽電池の充電効率も悪くなります。

●充電池の交換方法（部品の取り外し作業が必要です。わからないときは、販売店にご相談ください。）

①後どろよけ裏側のナットをレンチ（8 mm）でゆるめてソーラーオートテールを取り外す

ソーラーオートテール　後どろよけ　締める　ナット　ゆるめる

②マイナスドライバー等でフタを開ける

③電池を交換する

④フタを閉める

⑤後どろよけにソーラーオートテールを取り付け、裏側のナットをレンチ（8 mm）で締める（反射面後向き）

締付けトルク：3 N・m ～ 4.5 N・m
{30 kgf・cm ～ 45 kgf・cm}

お願い

●取り替えた電池は、販売店かリサイクル協力店へお持ちください。

お知らせ

●連続点滅時間は、約 8 時間（直射日光下 2 時間放置後満充電時、連続点滅）となっておりますが、ご使用の状況により、変わる場合があります。
●充電池の寿命は、約 2 年が目安となっておりますが、ご使用の状況により、変わる場合があります。

乗るまえに

正しい取扱い方法（6）

わからないときは、販売店にご相談ください。

■変速のしかた

⚠警告

■スピードをだしすぎない

標準常用速度	12 km / h ～ 15 km / h

衝突や転倒によるけがの原因になります。

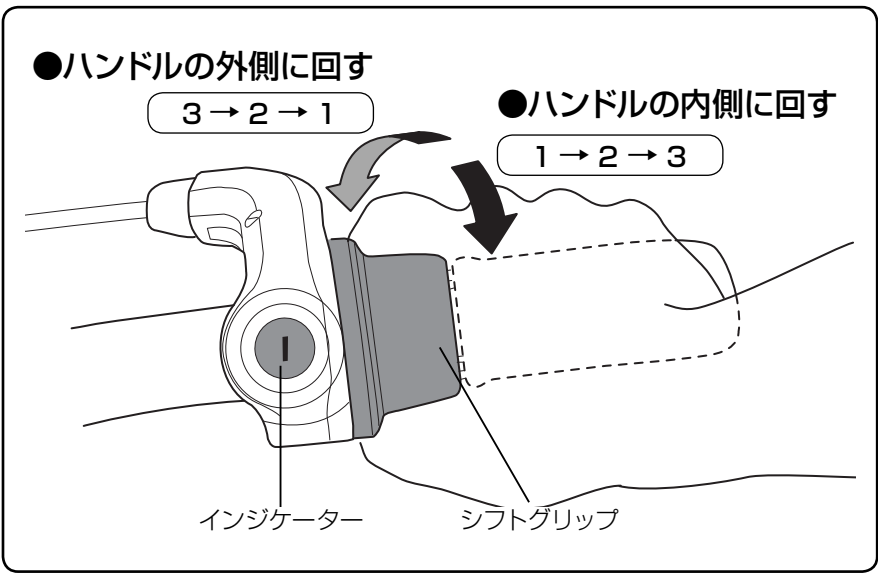
■一度に 2 段変速しない

一気に変速すると、ショックが大きく、転倒によるけがのおそれがあります。
●１段ずつ変速してください。

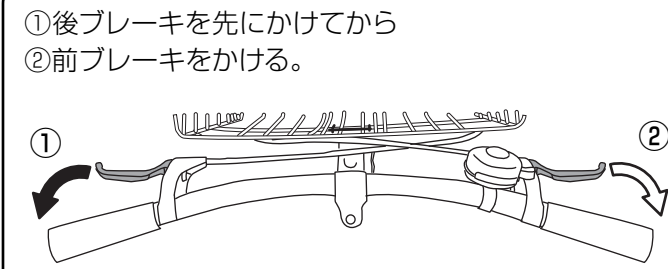
お願い

●変速操作は、よく練習してください。
●シフトグリップを無理に回す変速はしないでください。（変速機を傷める原因になります。）
●変速するときは、足を止めるか踏む力を抜いてください。

お知らせ

●シフトグリップを操作すると、位置決めの軽い手ごたえがあり、その位置が、適正ポジションになります。

変速位置	ペダルの回転が	
	軽くなる	重くなる
1	↑	↓
2		
3		

■ ブレーキのかけかた

①後ブレーキを先にかけてから
②前ブレーキをかける。

⚠警告

■雨天時や下り坂ではスピードを出さない

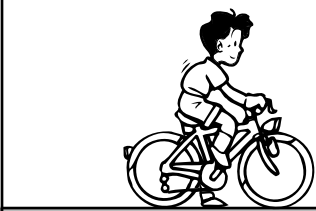
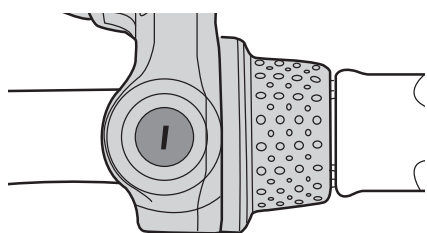
ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

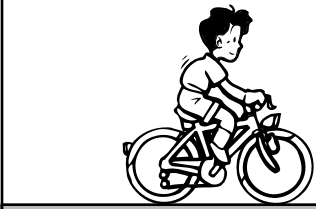
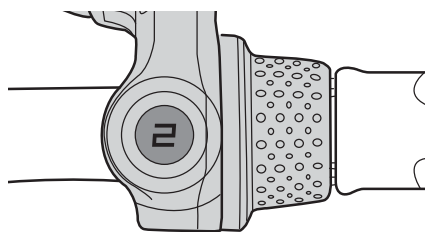
お願い

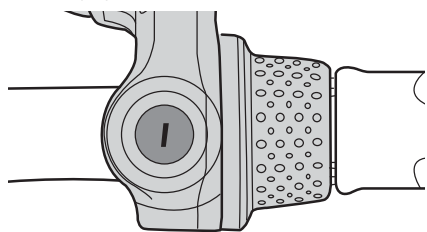
●急な坂道のときは、降りて押してください。
●下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。
●下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度がですぎないように走行してください。
●急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。

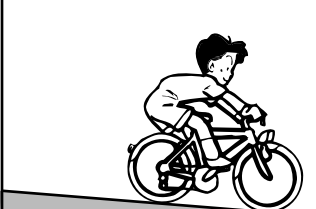
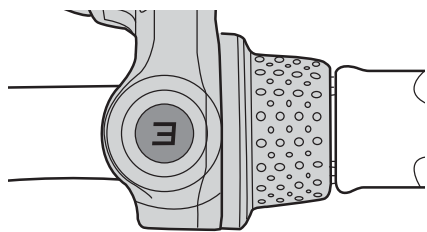
■変速機の上手な使いかた

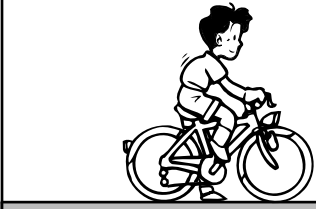
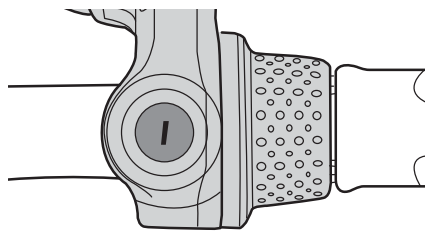
（標準的な変速位置を示していますが、自分の体調や脚力にあわせ、適切な変速位置をお選びください。）

発進するとき

1 の位置にあわせる。

●前後左右の安全を確認してから発進する。

平地を走るとき

2 の位置にあわせる。

上り坂のとき

坂の手前で…
1 の位置にあわせる。

●急な坂道のとき
⇒**降りて押す。**

下り坂のとき

坂の手前で…
3 の位置にあわせる。

●急な坂道のとき
⇒**降りて押す。**

停止するとき

停止する手前で…
1 の位置にあわせる。

次の発進が楽になります。
●後ブレーキを先にかける。

お手入れ／注油について

お手入れ

■ 日常のお手入れは、

●乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
●がんこな汚れには、台所用洗剤(中性) を薄めてご使用ください。

■ 汚れがひどいとき

水洗いし乾燥させた後、各部に注油してください。注油禁止場所には注油しないでください。(☞ 29 ページ)

■ 塗装部(フレーム体など)

乾いた布でよく磨き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でふき取ってください。

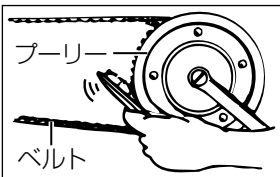
■ めっき部(スタンドなど)

乾いた布でよくふいたあと、「さび止め油」か「ミシン油」でふき、余分な油をふき取ってください。

■ ベルトドライブシステム部 (ベルト、プーリーなど)

●歯ブラシや棒切れのようなもので、目づまりを取り除くか、水で洗い流してください。
●降雪中に野外駐輪した場合、ベルトやプーリーの歯についた雪を取り除いてからご使用ください。
凍りついている場合は、ぬるま湯か水をかけて溶かしてください。
夜間放置の場合、ベルトについた雪や雨水が、凍結するおそれがある時は、ギヤクランクを逆回転させて、ベルトやプーリーの水切りをおこなってください。

プーリー
ベルト

ぬるま湯か水で注水

■ 樹脂部(チェーンケースなど)

ついた油は、すぐ、乾いた布でふき取ってください。

■ 湿気の多い所や海岸沿いは、

さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

お願い

●シンナー等の有機溶剤は、使用しないでください。(塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されます。)
●サドルには、ワックスをかけないでください。(座ったとき衣服が汚れたり、すべります。)

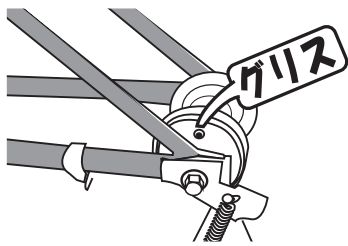
注油について

⚠警告

■リムやブレーキブロック(ゴム部)には、油をつけない

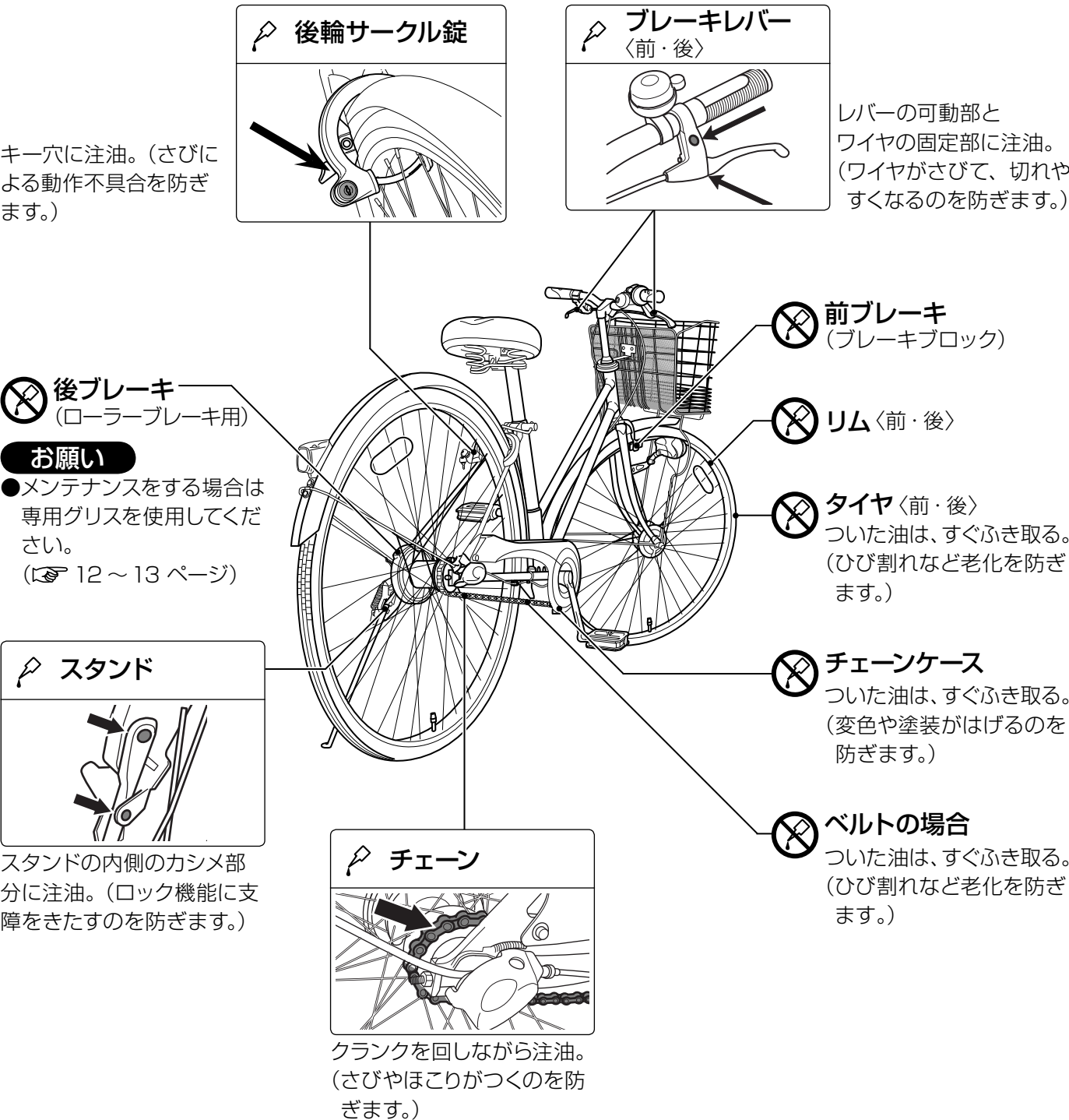
注油禁止

■ブレーキグリスの補給には、ローラーブレーキ専用グリスを使用する

ブレーキが効かなくなり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

注油場所と注油禁止場所

 このマークは、注油場所を示します。 このマークは、注油禁止場所を示します。

お願い

●油の種類は、必ず、自転車用油を使用してください。(食用油などは、硬化するおそれがあります。)
●余分な油は、乾いた布でふき取ってください。

保　管／廃　棄

保　管　／　廃　棄

■保管場所は、

雨がかかりにくい場所に保管してください。
雨がかかるところでは、市販の「サイクルカバー」のご使用をおすすめします。
※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検・調整のうえ、ご使用ください。

■廃棄するときは、

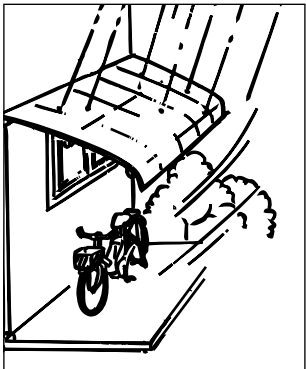
自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

おぼえのため、記入されると便利です。

販売店名	電　話（　　　）　ー
品　番	車体番号
防犯登録番号	キー番号

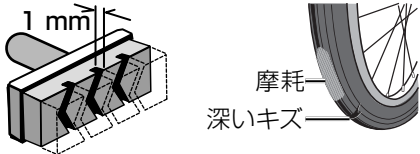
定期点検

定期点検

⚠警告

■定期点検は、必ず実施する

異常や故障の発見がおくれ事故によるけがの原因になります。

■部品の交換は、次の基準で実施する

- **ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、異常がなくても 2 年に 1 回は、交換する。**
- **タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなる前に交換する。**
- **ブレーキブロックは、溝の残りが、1 mmになる前に交換する。**
- **ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。**

ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒によるけがのおそれがあります。

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。
いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回（2 ヵ月目）点検と、6 ヵ月毎の定期点検の実施をお願いします。

●初回（2 ヵ月目）の点検と整備

お買い上げ 2 ヵ月位のご使用で、各部にねじのゆるみが出ることがあります。
必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士（自転車組立整備士）、もしくはそれと同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

● 2 回目以降（6 ヵ月毎）の点検と整備

安全にご愛用頂くため、必ず継続してお受けください。

愛情点検　**定期点検をし、安全走行をしましょう！**

こんな症状はありませんか

- 異常な音がする
- がたつきやゆるみ
- 車輪の振れ
- ブレーキの効きが悪い

▶ **事故防止のため、必ず販売店に点検・整備をご依頼ください。**

必要なとき

盗難補償とアフターサービス

盗難補償について

ガチャリンコ、ガチガチロック盗難補償制度は、ガチャリンコまたは、ガチガチロックシリーズをお買い上げいただいたお客様を対象に、ご購入日より3年以内に盗難にあわれた場合、事務手数料のご負担で、盗難車と同タイプの新車をお渡しする制度です。

ご購入時、保証書のお客様欄に必要事項をご記入され、盗難補償登録カードをご提出いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償がうけられます。

(1) 盗難補償の期間と範囲

お買い上げの日から3年間以内の自転車(別売部品等を含む装着部品の盗難は除く) かつ、盗難日より90日以内に申し込みいただいた場合に限ります。

(2) 盗難補償の申込み要領

万一、盗難にあわれた時は、自転車保証書と盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの（警察受理ナンバーまたは盗難届出証明書等）に、盗難車のキー（**ガチャリンコ　スペアを含む3個、ガチガチロック　スペアを含む3個**）と手数料3000円（税込）を添えて、お買い上げの販売店へ、お申し込みください。
追って、販売店から新車をお渡しします。

(3) 盗難補償できない場合

イ. 施錠せず盗難にあった場合
ロ. (2) の書類がそろわない場合
ハ. 補償期間が過ぎている場合
ニ. 盗難補償車が、再度、盗難にあった場合
ホ. 防犯登録がされてない場合
ヘ. 盗難車が見つかり、返ってきた場合
ト. 景品などの贈呈品の場合

お知らせ

●生産等の都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。
●新車をお渡しした時点より、盗難車の所有権は弊社に帰属します。

アフターサービスについて（修理を依頼されるとき）

●保証期間中は、
お買い上げの販売店が、保証書の規定に従って、修理させていただきます。
おそれいりますが、自転車に保証書を添えて、お買い上げの販売店までお持込みください。

●保証期間が過ぎた後は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

自転車安全基準／BAA マーク

この自転車は（社）自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。

自転車安全基準

「自転車安全基準」は、（社）自転車協会が JIS（日本工業規格）をベースに、DIN（ドイツ規格）など海外の規格やヨーロッパの環境負荷物質に関する規制（RoHS 指令）を踏まえて、消費者の安全第一と環境負荷の低減を目的として定めた基準です。

BAA マーク

「BAA マーク」は、自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車に、貼ることができるマークです。
「BAA マーク」は、自転車の立パイプに貼付されています。
※ BAA= 自転車協会認証—BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED

オプション 別売部品

取付けのポイント

●安全にご乗車いただくため、必ず当社の純正部品をご使用ください。
（当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。）
●オプション部品の品番は都合により変更することがありますので、取付けの際に販売店にご確認ください。
（掲載している品番は 2009 年 7 月 現在のものです。）
●形状や価格等詳細については、販売店でご相談ください。

■ リヤキャリヤについて

リヤキャリヤ 26 インチ用：NCR1283（CP）、NCR1280（ステンレス）
27 インチ用：NCR1284（CP）、NCR1281（ステンレス） TFD, TFB

⚠警告

■積載条件から外れる荷物を積まない
〈リヤキャリヤ積載条件〉
●高さ　：30 cm まで
●幅・長さ：キャリヤの幅・長さプラス 10 cm まで
●重さ　：フロントバスケット・リヤキャリヤ合わせて 22 kg まで (クラス表示 25)
（但し、フロントバスケットは 3 kg まで。）
バランスを崩したり、ブレーキが効きにくくなり、転倒によるけがのおそれがあります。

お願い
●荷物の運搬には、リヤキャリヤ及びバスケット以外は使用しないでください。
●積載条件以上の荷物を積まないでください。劣化度合が大きくなったり、場合によってはリヤキャリヤ、フレームなどが破損するおそれがあります。

お知らせ
●容量の大きいリヤキャリヤに交換しても、最大積載質量は同じです。

仕　様

タイヤ	車種品番	B-TFD63	B-TFB63	B-TFW63
26 × 1 3/8 WO	フレームサイズ（mm）	370		390
	全 長（mm）	1,785		1,825
	全 幅（mm）	585		590
	ハンドル高さ（mm）	970 ～ 1,030		1,010 ～ 1,075
	サドル高さ（mm）	750 ～ 905		775 ～ 930
	質 量（kg）	19.6		21.5
	適応身長	135 cm 以上		144 cm 以上

タイヤ	車種品番	B-TFD73	B-TFB73	B-TFW73
27 × 1 3/8 WO	フレームサイズ（mm）	400		420
	全 長（mm）	1,830		1,880
	全 幅（mm）	585		590
	ハンドル高さ（mm）	1,005 ～ 1,080		1,060 ～ 1,125
	サドル高さ（mm）	795 ～ 950		825 ～ 975
	質 量（kg）	19.9		21.9
	適応身長	140 cm 以上		147 cm 以上

タイヤ	車種品番	B-MWJW734
27 × 1 1/2 WO	フレームサイズ（mm）	430
	全 長（mm）	1,880
	全 幅（mm）	590
	ハンドル高さ（mm）	1,085 ～ 1,170
	サドル高さ（mm）	830 ～ 985
	質 量（kg）	23.3
	適応身長	149 cm 以上

●乗車適応身長は、個人差がありますので、目安としてください。
●寸法や質量は、部品のばらつきや仕様変更等により、誤差が生じる場合があります。
●この車種は、乗員体重を 65 kg（MWJW のみ 90 kg）で基本設計いたしております。
従って、著しくオーバーした体重の方が常用された場合は、消耗度合、劣化度合が大きくなります。

■寸法について